

国際プログラム科目海外英語研修およびIntroduction to Embedded Programming(International Training)

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2025年08月17日 ～2025年09月04日	インドネシア	スラバヤ工科大学 マラ工科大学	<ul style="list-style-type: none"> ・生命科学科、電子情報システム学科、機械制御システム学科、環境システム学科 ・学部1年生 	(芝浦工業大学) 学生51名、学生バイト4名、 教員4名、職員1名 (スラバヤ工科大学) 学生40名、教員5名、 職員2名 (マラ工科大学) 学生14名、学生バイト2名、 教員3名	福井 浩二(生命科学科) 高木 基樹(生命科学科) 三好 匠(電子情報システム学科) 伊藤 和寿(機械制御システム学科)

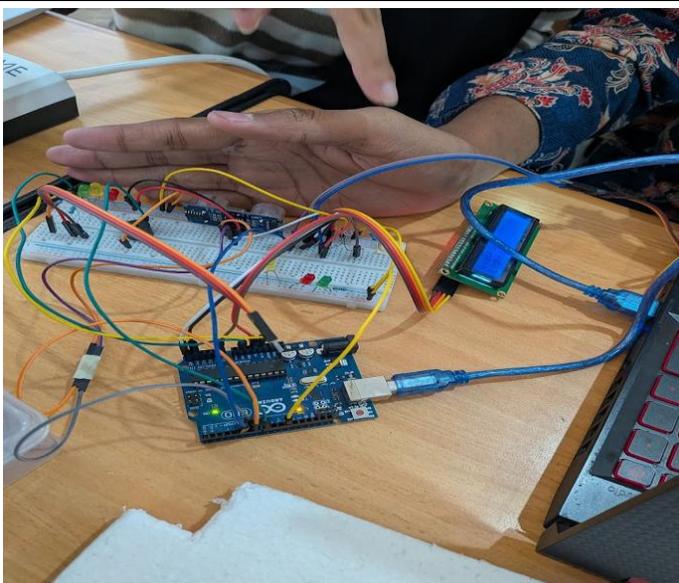


図1 アルディーノキット

本年度も、昨年度に引き続きインドネシア・スラバヤ工科大学(ITS)の協力を得て、現地においてIEP(International Exchange Program)を実施した。今年度は、芝浦工業大学およびスラバヤ工科大学に加え、マレーシア・マラ工科大学(UiTM)の学生も現地参加し、国際的な学習環境のもとでプログラムを実施した。参加者は学生105名、TA(Teaching Assistant)6名であった。プログラム前半では、ガイダンスおよびC言語の基礎に関する講義と演習を行い、後半ではC言語によるArduinoマイクロコントローラを用いた電子回路の入出力制御に関する授業と実習を実施した。今回は全員が実際にキットを使用して電子回路の組み立てと制御を行い、さらにWeb上のシミュレーションツールであるTinkerCAD(AutoDesk社)の活用も紹介した。PBL最終日には、各グループによる6分間の英語プレゼンテーションを実施した。発表はオリジナリティ、完成度、プレゼンテーションの三つの観点から、全学生・TA・教員による投票で評価し、優秀な3グループを表彰した。実践的な技術教育と国際協働の両面から、非常に意義のあるプログラムとなった。



図2 最終発表会



図3 街並み